

2022年度

自己点検・評価

ホツマインターナショナルスクール名古屋校

実施日 : 2023年 8月 4日

実施責任者 : 校長 白木 寛和

実施担当者 : 棚町 拓、大森 翔梧、西川 勸

※ 各点検・評価項目は中項目、更には小項目に分け、各項目ごとに次のように評価を分類して、本資料においては小項目ごとの評価は中項目にまとめて示した。

- A 達成されている。
- B ほぼ達成されているが、不十分なところがあり改善に取り組んでいる。
- C 達成に向けて努力している。
- D 達成されていない／必要性に気づいていなかった。
- X 該当しない。

第1 設置者及びマネジメント

1 理念・教育目標

1-1 理念と教育目標

評価点	1-1-1	<理念> 本校の教育は、単に日本語を教えるのではなく、学生が日本語を学びながら社会に貢献する人材として育つように導くことであり、日本の伝統文化に根差して、生のふれあいを大切にした親身な教育活動の実践をモットーとする。
	1-1-2	<教育目標> 一定の日本語能力を身につけさせると共に、日本の社会で通じる礼儀等の基本的振舞いの習得と協調性を自発的に養いえる素地を形成させる。そして、将来的に社会の発展に寄与し得るように、日本の高等教育機関への進学を個々の学生の当面の目標として掲げるものとする。
	1-1-3	理念と教育目標が教職員、学生に周知されている。

1. 理念・教育目標

総合評価 **B+**

学生、職員全体で意識を共有していくことが今後の課題。
単なる文言のみの理念や目標に留まっておらず、指導を実践している。例を挙げると、登下校時の挨拶、遅刻者や忘れ物をした学生への指導など、日本社会で生きていく上での必要な礼儀や作法も重視しており、基本的な礼儀については、授業内外で指導することができていると感じる。
全ての教職員・学生に、理念が周知されているとは断定しがたいところがある。

2 組織

2-1 組織態勢

2-1-1	設置者、設置代表者及び経営担当役員は、「日本語教育機関の告示基準」で定められた要件に適合している。
2-1-2	事業規模に応じた組織態勢になっている。
2-1-3	受け入れようとする学生の言語への対応策が講じられている。

2-1 組織態勢

評価 **A-**

2-2 教員組織

2-2-1	校長、主任教員及び教員は、「日本語教育機関の告示基準」で定める要件を備えている。
2-2-2	校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限が明確に定められている。
2-2-3	教育目標達成に必要な教員の知識、能力及び資質が明示されている。

2-2 教員組織

評価 **A-**

2-3 事務組織

- 2-3-1 生活指導責任者及び入管事務担当者が特定され、その職務内容及び責任と権限が明確に定められている。担当者が複数名の場合は、責任者が特定され、それぞれの責任と権限が明確化されている。
- 2-3-2 生活指導責任者及び入管事務担当者が学生及び教職員に周知されている。
- 2-3-3 入国管理局により認められた申請等取次者を配置している。

2-3 事務組織

評価 **A-**

2-4 採用と育成

- 2-4-1 教員及び職員の採用方法及び雇用条件が明文化されている。
- 2-4-2 教員及び職員の研修等により教育の質及び支援力強化のための取組をしている。
- 2-4-3 教育機関としての信頼を高めるため、倫理観、振る舞い、ハラスメント防止等に関する研修を行っている。
- 2-4-4 教員及び職員の評価を適切に行っている。

2-4 採用と育成

評価 **B+**

2. 組織

総合評価 **B+**

英語も通じない学生の場合、翻訳機に頼っているのが現状。告示基準の要件には適合している。ただしその中で人員不足だったことは否めない。言語への対応策はあえて講じられてはいないが、都度対応できている。以前よりは改善されたと感じるが、教育目標達成に必要な知識・能力・資質の明示化は今後取り組むべき課題の一つと考える。権限の明確化と職員間での共有が今後の課題と捉えている。教員の知識、能力及び資質は明示されていない。
生活指導責任者及び入管事務担当者は特定されず、学生及び教職員にも周知はされていない。責任者は存在しているが、学生が認知しているかどうか断言できない。
倫理観、振る舞い、ハラスメント防止等に関する研修は行われていない。授業担当教員へのフィードバックは、時間をかけて適切に行っている。採用方法等は明文化されていない。入社後の研修に加えて、定期的な外部からの講義もあり、教育の質を高める取組はされている。

3 財務

3-1 財務状況

- 3-1 財務状況は、中長期的に安定している。
- 3-2 予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれている。

3. 財務

総合評価 **B+**

財務状況についての詳細は一般職員に開示されていない。
安定してきているという話を責任者から聞いたことはあるが、有効性及び妥当性が保たれているとは断言できない。

4 教育環境

4-1 校地、校舎

- 4-1-1 教育機関として適切な位置環境にある。
- 4-1-2 安定的に教育活動を継続するための校地及び校舎が整備されている。
- 4-1-3 校舎面積は、「日本語教育機関の告示基準」に適合している。

4-1 校地、校舎

評価 **A**

4-2 施設、設備

- 4-2-1 教室、その他の施設は、「日本語教育機関の告示基準」に適合している。
- 4-2-2 教室内は、十分な照度があり、換気がなされている。
- 4-2-3 すべての教室は、語学教育を行うのに必要な遮音性が確保されている。
- 4-2-4 授業時間外に自習できる部屋が確保されている。
- 4-2-5 教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能である。
- 4-2-6 視聴覚教材やITを利用した授業が可能な設備や教育用機器が整備されている。
- 4-2-7 教員及び職員の執務に必要なスペースが確保されている。
- 4-2-8 同時に授業を受ける学生数に応じたトイレが設置されている。
- 4-2-9 法令上必要な設備等が備えられている。
- 4-2-10 廊下、階段等は、緊急時に危険のない形状である。

4-2 施設、設備

評価 **A-**

4. 教育環境

総合評価 **A-**

Wifi環境が若干弱いくらいで特に問題なし。建物に破損箇所が見つかった場合も、早急に対応している。
建物が古く多少のシミや汚れ、破損もあるが問題視する程ではない。必要な箇所は校舎周り、校舎内ともに見つけ次第、速やかに対応できている。自習部屋はないことはないが周知をしていない。階段は緊急時危険になり得るが、現状対策が講じられているわけではない。自習するスペースは存在するが、大人数が同時に希望してきた場合に利用することができるほどのスペースではない。また、階段は螺旋階段で、緊急時に危険が無いとは断言できない。

5 安全・危機管理

5-1 健康・衛生

- 5-1-1 健康、衛生面について指導する態勢を整えている。
- 5-1-2 対象となる学生全員が国民健康保険に加入し、併せて、傷害保険にも加入している。
- 5-1-3 重篤な疾病や傷害のあった場合の対応を定めている。
- 5-1-4 感染症発生時の措置を定めている。

5-1 健康・衛生

評価 **A-**

5-2 危機管理

- 5-2-1 危機管理態勢が整備されている。
- 5-2-2 火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定めている。
- 5-2-3 気象警報が発令された場合の措置を定めている。
- 5-2-4 災害等に対する避難訓練を定期的に行っている。
- 5-2-5 防災用品が備蓄されている。

5-2 危機管理

評価 **B+**

5. 安全・危機管理

総合評価 **A-**

健康や衛生面についての指導は入国直後のオリエンテーションに始まり日々の掃除指導なども行っている。気象関連の措置については定められている。避難訓練は実施していない。避難経路はハザードマップを掲示している程度。対応は定まっており、それに加えてその場その場で適切な判断をしている。防災用品は知る限り備蓄されておらず、避難訓練も実施されていない。

6 法令の遵守等

6-1 法令の遵守

- 6-1-1 法令遵守に関する担当者を特定している。
- 6-1-2 教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組を行っている。
- 6-1-3 個人情報保護のための対策がとられている。
- 6-1-4 入国管理局、関係官庁等への届出、報告を遅滞なく行っている。

6. 法令の遵守

総合評価 **B**

入管への届出・報告は担当者を交代しつつも重要な業務として遅延なく行っている。入社後の研修でコンプライアンスについての研修はあるが、明確にその為というわけではない。個人情報保護については、以前よりは改善されたが、完全ではない為、今後の課題。

第2 運営に関する事項

7 運営全般

7-1 組織的な運営

- 7-1-1 短期及び中長期の運営方針と経営目標が明確化され、教職員に周知されている。
- 7-1-2 管理運営の諸規定が整備され、規定に基づいた運営がなされている。
- 7-1-3 意志決定が組織的になされ、かつ、効率的に機能している。
- 7-1-4 予算編成が適切になされ、執行ルールが明確である。
- 7-1-5 業務の見直し及び効率的な運用の検討が定期的、かつ、組織的に行われている。

7-1 組織的な運営

評価 **B-**

7-2 納付金

- 7-2-1 入学検定料、入学金、授業料及びその他納付金の金額及び納付時期が明示されている。
- 7-2-2 学費以外に入学後必要になる費用が明示されている。
- 7-2-3 関係諸法令に基づいた学費返還規定が定められ、公開されている。

7-2 納付金

評価 **A**

7-3 情報の共有化及び発信

- 7-3-1 外部からの情報提供が効率的になされ、かつ、共有化する仕組みがある。
- 7-3-2 内部からの情報発信が効率的に行われている。
- 7-3-3 入学希望者・学習者及びその利害関係者（経費支弁者等）の理解できる言語で直接乃至は間接的に情報提供を行っている。

7-3 情報の共有化及び発信

評価 **B+**

7. 運営全般

総合評価 **B+**

業務の見直し及び効率的な運用については頻繁に実施しているミーティングで検討されている。意思決定は組織的になされている。予算編成が不明瞭なところがある。費用や規定については定められ、公開されている。授業・業務の問題点は会議で検討され、組織的かつ効率的に進められているが、人材の育成は急務。納付金について、明示すべき情報は全てしており、職員間で共有ができています。また、内外からの情報提供はICTを駆使し効率的に共有ができています。総じて、情報共有の意識は高いが職員間の差は大きい。方針・目標が明確化されているとは言いがたい。しっかりと、明示されており、ホームページで確認できるようになっている。外部からの情報提供は効率的とは言いがたいが、共有化する仕組みはある。

8 学生募集

8-1	募集方針	
8-1-1	理念・教育目標に沿った学生の受入方針を定め、年間募集計画を策定している。	
8-1-2	募集定員を定めている。	
8-1-3	機関に所属する職員が入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っている。	
8-1	募集方針 評価	A-
8-2	募集活動	
8-2-1	教育内容、教育成果を含む最新、かつ、正確な学校情報が入学希望者の理解できる言語で開示されている。	
8-2-2	求める学生像を明示している。	
8-2-3	応募資格及び条件を入学希望者の理解できる言語で明示している。	
8-2-4	募集活動を行う国・地域の法令を遵守した募集活動を行っている。	
8-2-5	海外の募集代理人（エージェント等）に最新、かつ、正確な情報提供を行っている。	
8-2-6	海外の募集代理人（エージェント等）の行う募集活動が適切に行われていることを把握している。	
8-2	募集活動 評価	A-
8-3	入学選考	
8-3-1	入学選考基準及び方法が明確化されている。	
8-3-2	学生情報を正確に把握し、及び提出書類により確認を行っている。	
8-3-3	入学選考を行う態勢が整備されている。	
8-3-4	受け入れるコースの教育内容が志願者の学習ニーズと合致することを確認している。	
8-3	入学選考 評価	A-

8. 学生募集

総合評価 A-

学生募集に対する熱意は当社の売りのひとつである。募集定員は明示されており、入国前オリエンテーションなどを通して情報提供も行っている。また、日本語学校への学生送り出しに係る徴収費用の調査なども適切に実施している。当校は面接により適切に選考しているが、選考基準は担当職員から引き継ぐことがほとんどであり、明確化がされているとは言いがたいため、今後の改善が検討されたい。当社のホームページでは英語・中国語・ベトナム語で概要が確認できるようになっているが、入学希望者の国籍割合を踏まえて、言語を追加することを今後の課題と考える。受け入れるコースの教育内容が志願者の学習ニーズと合致しない場合は、後々問題になる可能性があることも含め、その上でなお当校に入学を希望するか確認するようにしている。

学校説明会時に、質問があったことに対しては情報を提供しているが、相談はあまり行われていないように感じる。言語については日本語と英語のみとなっており、英語を理解できない場合、理解できる言語で明示していると言いがたい。選考基準は明確化されており、それに則り選考を実施している。

9 教育活動

9-1 企画

- 9-1-1 理念・教育目標に合致したコース設定が行われている。
- 9-1-2 教育目標達成に向けた教育内容、教育方法及び進度設計がなされている。
- 9-1-3 教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られている。
- 9-1-4 カリキュラムは、体系的に編成されている。
- 9-1-5 教育目標に合致した教材が選定されている。
- 9-1-6 補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法に留意している。
- 9-1-7 授業に関する学習リソース及び情報を、授業開始までに教員に提供している。
- 9-1-8 教員配置が適切になされている。

9-1 企画

評価

A-

9-2 実施

- 9-2-1 授業開始までに学生の能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っている。
- 9-2-2 教員に対して、担当するクラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴その他指導に必要な情報を伝達している。
- 9-2-3 開示されたシラバスによって授業が行われている。
- 9-2-4 修了の要件が定められ、学生の理解できる言語によって明示されている。
- 9-2-5 教育内容に応じて教育用機器を活用している。
- 9-2-6 授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録している。
- 9-2-7 理解度・到達度の確認が実施期間中に適切に行われている。
- 9-2-8 学生の自己評価を把握している。
- 9-2-9 個別学習指導等の学習支援担当者が特定され、適切な指導・支援が行われている。

- 9-2-10 特定の支援を必要とする学習者に対して、その分野の専門家の助言を受けている。
- 9-2-11 授業や運営に関する学生からの相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処している。
- 9-2-12 学習内容、時間割と学年暦、成績判定の基準と方法、学習上の留意点、留学生活上の留意点、入管法上の留意点とこれらについての相談担当者名が記載された文書を、入学時に学生に配布している。

9-2 実施

評価 **B+**

9-3 成績判定

- 9-3-1 判定基準及び判定方法が明確に定められ、開示されている。
- 9-3-2 成績判定結果を的確に学生に伝えている。
- 9-3-3 判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証している。

9-3 成績判定

評価 **A-**

9-4 授業評価

- 9-4-1 授業評価を定期的の実施している。
- 9-4-2 評価態勢、評価方法及び評価基準が適切である。
- 9-4-3 学生による授業評価を定期的の実施している。
- 9-4-4 評価結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組に反映されている。

9-4 授業評価

評価 **B+**

9. 教育活動

総合評価 **B+**

学習リソースを教職員間で共有することによって、そこに内在する理念・教育目標も共有することができている。ただ、教員への学習リソース提供は直前になることもあり改善が必要。プレースメントテスト等のクラス編成時のテストは実施しておらず、国籍など様々な要素からバランスを考慮したクラス編成を実施している。プレースメントテスト等のクラス編成時のテストは実施しておらず、国籍など様々な要素からバランスを考慮したクラス編成を実施している。学生からの相談、苦情等は職員全員で分担し、十分に聴き取りをして対処していた。成績判定結果は毎試験後に個別に成績個票をウェブ上で配付している。授業評価については授業見学を定期的の実施し、細かくフィードバックを行っている。足りないところは日々改善している。非常勤講師を含めた研修も行っているが、全教員で共通理解が得られているとは断言しがたい。留意点等が記載された文書は入学時に一緒に確認し、配布している。ただ、時間割や成績判定等はこのタイミングでは配布していない。各学期ごとに学生には普段の授業評価及び、成績評価を配布している。評価基準は定まっており、定期的の実施されているが、完成形ではなく、不備が見つかったところで修正している段階。

10 学生支援

10-1 支援態勢

10-1-1 学生支援計画を策定し、支援態勢が整備されている。

10-1-2 休日及び長期休暇中の学生対応ができています。

10-1 支援態勢

評価 **A-**

10-2 日本社会を理解し、適応するための支援

10-2-1 入学直後のオリエンテーションを実施している。

10-2-2 生活に関するオリエンテーションを実施している。

10-2-3 地域交流や地域活動の機会への参加を積極的に促している。

10-2 日本社会を理解し、適応するための支援

評価 **A-**

10-3 生活面における支援

10-3-1 住居支援を行っている。

10-3-2 アルバイトに関する指導及び支援を行っている。

10-3-3 交通事故等の相談態勢が整備されている。

10-3-4 定期的に健康診断を実施している。

10-3-5 学生全体の生活状況について定期的に調査している。

10-3 生活面における支援

評価 **A-**

10-4 進路に関する支援

- 10-4-1 進路指導担当者が特定されている。
- 10-4-2 学生の希望する進路を把握している。
- 10-4-3 進学、就職等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にある。
- 10-4-4 入学時からの一貫した進路指導を行っている。

10-4 進路に関する支援

B+

10-5 入国・在留関係に関する指導及び支援

- 10-5-1 担当者は、研修受講等により適切な情報取得を継続的に行っている。
- 10-5-2 入管法上の留意点について学生への伝達、指導等を定期的に行っている。
- 10-5-3 在留に関する学生の最新情報を正確に把握している。
- 10-5-4 在留上、問題のある学生への個別指導を行っている。
- 10-5-5 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組を継続的に行っている。
- 10-5-6 過去3年間、不法残留者、資格外活動違反者及び犯罪関与者を発生させていない。

10-5 入国・在留関係に関する指導及び支援

B+

10. 学生支援

総合評価 **B+**

休暇中でも緊急時は連絡するよう伝えている。学習支援計画が明文化されているわけではないが、職員間では共有できており、態勢は整っている。具体的には、オリエンテーション・面談・寮回りが挙げられる。休暇に入る前にはオリエンテーションを行い、諸々の説明や情報共有、確認を行っている。休暇中も連絡を取れるようにしている。定期的に面談を実施することで、アルバイトやその他諸問題に対して対応しており、面談内容を職員間でICTを活用し効率的に共有していた。多くの学生が賃貸契約の学校寮に住んでおり、頻繁に寮回りをして生活状況や生活習慣などのチェック及び指導を行っていた。学生の希望進路は定期面談ほか進路指導等でこまめに聴取している。問題のあった学生は徹底した個別指導により厳しく対処していた。毎週の地域清掃などの地域活動や日本人大学生との交流イベントなども積極的に行っていた。

2名の資格外活動違反者を出した。

休日でも何か問題があれば連絡が取れるようになっており、学生寮の環境整備も実施している。オリエンテーションは定期的を実施しており、週に一度、学校周りの掃除をし、地域の美化を心掛けている。事故等の相談態勢が整備されているわけではなく、柔軟に対応しているのが現状。定期的に面談を実施しており、そこで希望する進路がある場合は、把握している。資料については学生が簡単に閲覧できる状態ではなかった。定期的な面談で在留に関しても確認し、アルバイトの時間などの確認を実施している。

11 教育成果

11-1 成果の判定

11-1-1 進級及び卒業判定が適切に行われている。

11-1-2 日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握している。

11-1 成果の判定

A-

11-2 卒業生の状況の把握

11-2-1 卒業生の状況を把握するための取組を行っている。

11-2-2 卒業後の進路を把握している。

11-2-3 進学先、就職先等での状況や卒業生の社会的評価を把握に努めている。

11-2 卒業生の状況の把握

B+

11. 教育成果

総合評価 A-

卒業判定基準は明確なものとなっている。学校単位での試験は把握できているが、その他の外部試験は面談などで聞き取りを行っており、結果については漏れなく合格証の写しを保管している。進路に関しては入管報告との兼ね合いもあり、予定と実際の齟齬がないかどうか追跡し、確認することとしている。
卒業後の進学先には、入学後も確認を取ったり、卒業後 就職確認もするように努めている。
外部試験について、基本的には団体で申し込んでいるため把握できているが、数名個人で申し込んでいる学生の結果を把握できていないケースがあった。一部の担当者のみが把握するための取り組みをしており、全体で取り組んでいくのが今後の課題。卒業生が専門学校等へ入学後、確認をするがその後の継続的な把握は取り組めていないのが実情。